



大城 毅 議員

# 米軍関係事件・事故の防止に全基地撤去を

答 基地の過重負担軽減を求める

**問** うるま市在住の20歳女性が、恩納村の雑木林で遺体となって発見された。世論調査では、事件・事故防止策には沖縄からの全基地撤去が最も多く42.9%となっている。世論調査の結果を町長はどのように考えるか。

**町長** 沖縄の過重な基地負担軽減の実現を求めていくべきだと思う。

**窓口無料のことも医療費助成制度に**

**問** 病院窓口で支払いの要らない、こども医療費助成制度の拡充を図る必要があるのではないか。

**町長** 医療費の抑制には早期発見が大事だと思っているので現物給付を行いたい。本町が現物給付（窓口無料）にすると県の助成が受けられなくなる。県の制度が大きなハードルとなっている。

**観光客が琉球絣に触れ購入する機会を**

**問** 多くの観光客に、絣に触れてもらい、購入につなげる必要がある。どう取り組んでいるか。

**副町長** 誘客は一括交付金を活用して町観光協会に委託している。琉球絣組合と各工房の協力を得ながら、かすりの道ツアーを実施している。併せて、町の観光案内所を外国人案内所登録する取り組みも行っている。



かすりの道ツアーの様子

**小学校普通教室にクーラーを**

**問** 近隣の与那原町、八重瀬町、南城市、那覇市の公立小中学校普通教室へのクーラーの設置状況と本町の計画はどうか。

**教育長** 与那原町は小中ともに100%。八重瀬町では小学校71.4%、中学校0%。南城市では小学校81.4%、中学校7.5%。那覇市では小学校86.4%、中学校85.3%となっている。本町では、南風原中学校の4教室に設置している。今後の計画は予算等も勘案し、全体的な事業の見直しを検討しながら随時計画を実施したい。

こんな質問もしました  
○子育て支援強化を  
○バス停への屋根設置を